



技「脳」者の育成が重要である！！

モノづくり企業がまず為すべきことは、重要な経営資源の一つとして自社にある技能をしっかりと認識し、社内のどの場所にどの程度の技能がどれくらいあるのかをきちんと把握することである。

この結果をベースにして、その会社が進めていくモノづくりに関する経営戦略を策定していく。そして、その経営戦略に基づいて、企業が成長していくための戦略的課題として技能を経営に位置付けていくことが重要な要素となっていく。

技能の経営への位置付けにおいて特に重要なことは、

- ①技能者（モノづくり現場）を大事に考えているという経営姿勢を社内に対してアピールしていくことであり、処遇・評価制度や熟練技能者を対象とした再雇用制度など形として現していくことである。そうしたことを通じて技能者のモチベーションを引き出していかなければならない。
- ②技能伝承戦略の実施段階においては、今後社内で積極的に技能の育成・伝承を図っていくべき重要技能を選定していくことがまず求められる。
- ③重要技能に対して人・モノ・金のすべての面で重点的に投資していくことになるが、その際は技能に応じた育成方法をとっていくことが重要な要素となる。

技能者にも様々なタイプがあり、それぞれに最適な育成方法は異なってくる。

